



# 行動しよう・前進しよう！ Weekly Report

2016-17 年度 第 17 号

## 第 2301 回例会

11 月 ロータリー財団月間

日 時：平成 28 年 11 月 30 日（水）

会 場：例会場

司 会：SAA

開会点鐘

斉 唱：ロータリーソング「奉仕の理想」

お客様の紹介

下地 恵美子様 卓話講師

岡部 直士様 東京立川 RC

会長挨拶

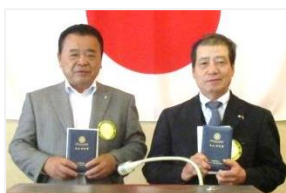
26 日の土曜日は三鷹 RC50 周年の行事として、ICU においてパイプオルガンのコンサートがありました。喜連幹事、次期の村上ガバナー補佐・山崎グループ幹事と行ってきました。大変有意義な 1 時間でした。地区大会のご案内を配布しました。これから出欠を確認いたしますが、地区からも例年昼食が残ってしまうので、今年はお食事をするかしないかの確認をしっかりと行うよう連絡がきています。参加費は全員分払いますので、22 日の本会議には 1 名でも多く参加してください。

ガバナーノミニ・デジグネート確定宣言がきましたので、報告いたします。2019-20 年度のガバナーは、東京六本木 RC の浅田豊久氏です。職業分類は日本料理、生年月日は 1942 年 9 月です。

### 米山功労者第 1 回表彰

遠藤常臣会員

山崎義晴会員



喜連(元)幹事

### 幹事報告

●12 月のロータリーレートは 1 ドル 106 円です

●地区「広報応用セミナー」開催

日時 12 月 1 日（木）13 時 30 分

場所 メルパルク東京

出席 荘原広報・IT 委員長

千葉地区広報委員

●第 2 回クラブ米山奨学委員長セミナー開催

日時 1 月 26 日（木）15 時

場所 ハイアットリージェンシー東京

出席 岡本正伸担当理事

●地区大会 2/22(水)の出欠確認の回覧

「食品ロスを極力減らすためにご協力のお願い」

昼食数の変更は 1/16 までです。出欠の変更をする方は事務局へ連絡してください。

### 委員長報告

●木島指名委員長 第 2 回指名委員会を例会後に開催します。委員の方はお残りください。

●長嶋青少年奉仕委員長 命の大切さポスター展の最優秀作品 2 点のポスターができましたので、ご報告いたします。市内小中学校など市内各所に掲示予定です。皆様のご協力ありがとうございました。

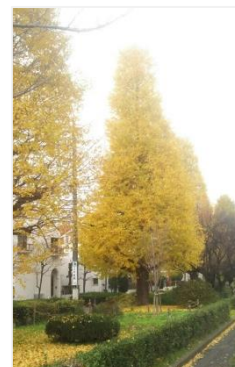
### ニコニコBOX

林親睦活動委員

●岡部直士様(東京立川 RC) いつも山崎義晴さんがお世話になっております。次年度ガバナー補佐村上さん、グループ幹事山崎さん、頑張ってください。

●内山会長 東京立川 RC の岡部様ようこそいらっしゃいました。歓迎申し上げます。本日の卓話の講師下地様の朗読「麦藁帽子」拝聴させていただきます。

●喜連元昭幹事 本日の卓話講師でお越し頂きました、下地恵美子様の朗読を楽しみにしております。久方振りに流麗な日本語を聞けそうです。東京立川 RC



大学通りの銀杏



RI 第 2750 地区 多摩中グループ  
東京国立ロータリークラブ

会長 内山健治 幹事：喜連元昭

例会日：毎週水曜日 例会場：谷保天満宮社務所 2 階 東京都国立市谷保 5209

事務所：東京都国立市谷保 5234-1 TEL:042-575-0770 FAX:042-572-8666

E-MAIL: kunitachi-rc@sage.ocn.ne.jp WEB: http://kunitachi-rc.com/

会報委員：大庭敏也・秋廣道郎・遠藤常臣・伊藤達弥

岡部直士様のご来訪を歓迎致します。

●山口会員 本日の朗読の講師は、私の友人の下地盛栄税理士の奥様です。楽しみにしています。

●秋廣会員・岡本正伸会員 岡部さん、お久しぶりです。同期会長として大変お世話になりました。幹事の岡本さんともども大歓迎のニコニコをします。

●小澤谷守会員・山崎会員 立川 RC 岡部さんの来訪、歓迎いたします。ようこそ！

●本間会員 東京立川ロータリークラブ岡部先輩のご来訪ありがとうございます。下地様の朗読楽しみです。

ニコニコ BOX 合計 17,000 累計 767,000 円



青少年交換委員会「命の大切さポスター展」最優秀作品のポスター・賞状・参加賞を各中学校へ届けました。

写真は国立市立第二中学校

### 出席報告

喜連(紘)出席奨励委員

11月30日 在籍47中 出席39名

前々々回(11月9日)の出席率 100%

前々回(11月16日)の出席率 95.45%

### 閉会点鐘

内山会長



## 朗読 津村節子作 「麦藁帽子」



下地恵美子氏

### ■講師紹介

岡本貞雄会員

きょうの卓話は、クラブでは初の舞台朗読です。

朗読をされるのは下地恵美子さんで、現在定期的に鳳仙花で朗読の会を主催し、そこでご自身も舞台に立って活躍されております。

下地さんは、国分寺市の下地会計事務所の下地盛栄所長の奥さまです。国立にも顧問先がありますので、ご存知の方もいらっしゃると思います。

下地さんの朗読は原稿を読みません。講談や落語のように、物語を暗記して演じますので、よりリアルにストーリーが伝わってきます。

きょうは津村節子作「麦藁帽子」を朗読していただきます。津村節子は芥川賞作家ですが、この秋に文化功労者に選ばれました。ご主人は10年前に亡くなった作家の吉村昭です。

### ■朗読「麦藁帽子」あらすじ

一人息子の慶一郎に先立たれた志津子と貢は、三回忌が過ぎて初めて、慶一郎がある女性との間に貢一という子供を設けていたことを知らされる。

自分たちの孫を一目でいいから見たいと思った志津子と貢は、慶一郎の命日の翌日、午後二時に毎年寺を訪れる、女性と孫を待つことにした。

女性から、慶一郎の両親への口止めをされていた住職夫人は、正式に会わせることはできないと言ったので、二人は窓の障子を少し開け、女と貢一を待つことにした。しかし、いくら待っても来ないので、また翌日も訪れてみた。そしてまた翌々日も待ち続けたが女も貢一も来なかった。

それから1ヵ月後、住職夫人から寺に来て欲しいとの電話があった。「現れない筈でした、あの人は故郷に帰ったのです」住職夫人はそう言って、一通の手紙を差し出した。母が躰をこわして仕事が出来なくなったので、故郷の小豆島へ帰ったこと。貢一を抱えながらの勤めは限界があるから、家業を手伝いながら子育てをするとのことだった。手紙と一緒に家で作ったそうめんも添えられていたとのこと。差出人の名前は書かれていなかったが、そうめんの箱に製造元の住所と屋号が書いてあった。

二人は急いで、小豆島へ向かうことにした。東京から岡山までの新幹線の中、二人は慶一郎と貢一の話が続けた。岡山からフェリーに乗り一時間ほどで小豆島に着いた。港からタクシーに乗り、運転手にそうめんの箱の住所を伝え車が動き出した。車は商店や旅館がある通りを抜け海岸沿いの道に出た。海岸から少し入った所で車は止まった。工場のような木造平屋の古い建物が目的の家だった。志津子は手土産を持って車を降りた。気がはやり、足が速くなる。工場と思われる建物に近づいて声をかけたが誰も出てこない。建物の裏手に廻ると、そこは広場になっていて、白い滝のようにそうめんが垂れていた。

一面の白い滝を見渡すと、その下に小さな麦藁帽子が動くのが見えた。しゃがんで何かしていた男の子が、人の気配を感じたのか立ち上がってこちらを見た。その顔に幼い頃の慶一郎の面影があった。

周囲から湧き上がるような蝉の声に包まれ、志津子はその場に立ち尽くしていた。